JAC北九だより NO.13

✓ 社団法人 日本山岳会 北九州支部
Kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発 行: 社団法人日本山岳会北九州支部 事務局: 北九州市若松区和田町11 -13 大庭 常生(副支部長兼務) 方 Tat 自宅 093-771-4538 昼 093-541-0259

発行人:秦野一彦

編集人:大庭常生·伊藤久次郎

『全国の会員による日本列島中央大分水嶺の一斉踏査登山』

北九州支部は主として山口県の分水嶺を担当予定

(社) 日本山岳会創立百周年記念事業

2005年10月に(社)日本山岳会(JAC)は、 創立100周年を迎える。そこで、これに合わせて各種の記念事業が計画されている。その中の一つで、北海道の宗谷岬から九州の佐多岬までの中央分水嶺を一斉踏査しようという試みがあり、我が北九州支部は、主として山口県内の分水嶺を担当することが予定されている。

その分水嶺踏査登山とは具体的にどのように実施するのか、その計画案を簡単に紹介する。

1. 目的

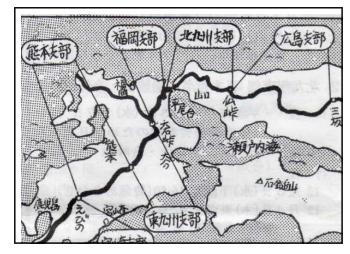
- (1) 出来るだけ多くの会員の参加
- (2) 多少なりともパイオニア的精神を生かせること (困難性を含む)
- (3) 少しでも参加者の連帯感がもてること (一本の線で結ぶ)
- (4) これからの I T 時代に相応しい企画 を盛り込む
- (5) 可能であれば、その他の科学的また は文化的要素を盛り込む

2. 登山計画

- (1) 中央分水嶺のルートとしては、当委 員会(科学委員会)で検討した案のも のを採用するが、詳細な分水嶺のルー トは各支部の検討に委ねる。
- (2)各支部の意見を聞いた上で担当区間を確定していく
- (3) 実際の登山は担当の各支部に委ねるが、 それぞれの実情に応じて実施する。
- (4)支部が中心となって実行するが、実際に歩く者やサポートする者は広く会員から募集する。

3. 調査活動

- (1) 最低限実施すべき事項(必修項目)
 - ① ピークと峠ではGPSを使用して位置 と高さを測定する。(各支部にGPSを一 台を記念として配布予定)



- ② 参加者は、報告書を必ず提出する。参加者の氏名、ピークや峠などの目印となる点での到着日時(コースタイムを含む)とGPSの測定結果などは最低限記入することになる。この最低限の項目は現地から直接又は下山後、速やかに本部実行委員会に報告し、ホームページ上に踏査状況として記載する。
- (2) できれば実施してもらいたい事項の例(任意 の選択項目)
 - ① 周辺状況の観察(自然保護の状況、ピークなどからの展望、分水嶺での顕著な相違点、もしあれば避難小屋や水場の状況など)
 - ② 三角点の保存状況
 - ③ その他の科学的・文化的項目

(3) 広報活動

- ① ホームページを最大限に利用し、進捗状況を常時公開する。
- ② 希望する区間があれば、NTTドコモの協力を得て、現地からの生データーを本部に送信し、リアルタイムで実施状況を公開する。
- ③ 会報(本部用)には、随時報告する。最終 的には報告書の形で印刷する。

以上の登山活動は、基本的には参加者のボラン ティア。

日本山岳会 平成15年度年次晩餐会と 北九支部 瑞牆山・金峰山登山のお知らせ

1 日本山岳会 平成 15 年度年次晚餐会

日 時・・平成15年12月6日(土)

受付午後4時 開宴 午後6時

場所・・東京都新高輪プリンスホテル

参加費・・15,000円(昨年)

申込み・・11月19日(昨年)頃

※ 個人で参加の場合は、日本山岳会からの 振込用紙が来て申し込むこと。

尚、北九州支部では、晩餐会参加と同時 に1本百名山の「瑞牆山」(2230m)と

「金峰山」(2599m)登山を計画していますので、登山参加申込みは9月末までとします。

2 北九州支部 日本百名山瑞牆山・金峰山登山

日 程・・平成15年12月3日(水)~7日(日) (年次晩餐会参加のため7日まで)

目的地・・奥秩父。瑞牆山・金峰山

行 程

12月3日(水)下関発 16:50(特急あさかぜ)

- 12 月 4 日 (木) 東京着 07:33、新宿発 08:30 ⇒ 甲府⇒韮崎 10:35 着⇒ジャンボタクシーで瑞牆山荘へ⇒富士見平小屋で荷物をデポし、瑞牆山往復。(富士見平小屋では自炊、貸毛布あり)
- 12 月 5 日(金)富士見平小屋(07:00)に荷物を置いて金峰山往復⇒小屋 14:00 着⇒瑞牆山荘(15:00)⇒タクシーで増富温泉へ。
- 12 月 6 日 (土) 増富温泉 (08:00) タクシー⇒韮崎 09:01 発⇒東京 10:52 着。ここで解散。 当日、東京宿泊を希望される方は福岡 会館を予約。料金 7,150 円 (シングル、 税込み)。

本部会員で年次晩餐会出席希望者は、 福岡会館を 15:30 頃出発し新高輪プリン スホテルへ。会場受付開始 16:00。

年次晚餐会 18:00 ~ 20:40。

12 月7日(日)東京空港→福岡空港(午前中適当 な機を利用)。バーゲンフェアーの割引料金 を利用する前提で、東京〜福岡 9300 円 (JAL/JAS) ~ 11,300 円(ANA)。

費用概算・・一応8人で計算

交通費: 40,000 円 宿泊費: 20,000 円 合計: 60,000 円

晩餐会費用は別勘定。

装 備・・衣類は冬山ベース。軽アイゼン、雨具、 防寒具、シュラフ・・等。

申込み・・関口興洋宛 FAX (092-382-6436)

締 切・・9月30日(厳守)

| 第 11 回日本山岳会九州 5 支部 | | 懇談会・交流登山の集い(案) |

計画 宮崎支部

「宮崎支部では、標記の集いを担当することになりました。つきましては皆様方の多数のご参加をお待ちいたしております」という下記の内容の案内文書が送られてきた。

記

5 支部懇談会

期日 平成16年1月17日(土) 14:00~

会場 宮崎市瀬頭町2-4-5

ひまわり荘(JR 宮崎駅から徒歩 10 分) 懇談会のあと記念講演と記念パーティ

交流登山

期日 平成16年1月18日(日)07:00~

会場 釈迦ガ岳 (830.6m)

最澄も登った霊験の深き山

行程 ひまわり荘 07:00 →綾町経由登山口 08:00 →5合目 09:00 →山頂 10:00 →法華岳薬師 寺・昼食 11:30 →綾町酒泉の杜経由宮崎駅 14:00 解散。

参加費用 (予定)

パーティ 3,000 円 宿泊料 6,000 円 交通費 2,000 円 1 人合計 11,000 円

参加希望者は、北九州支部事務局で取りまとめ たいと思いますので、**10月末まで**に事務局長へ申 し込んで下さい。

会員異動

(H15.7.1以降8月31日現在)

新会員 支部会員

 室津
 健次
 北九 375
 福岡市早良区野芥 3-16-8

 中岡
 邦男
 北九 376
 直方市上頓野 4765-1

 楠田
 和彦
 北九 377
 八幡西区大平台 10-16

 山田
 武史
 北九 378
 福岡市早良区昭代 3-9-5-502

退会

改姓

訂正とお詫び

第12 号で、「本部会員 足立久美子 (11860)⇒野嶋」 となっていましたが、足立久美子さんの足立は、「安達」 の間違いでした。 訂正とお詫びを申し上げます。



(社) 日本山岳会団体傷害保険の事故事例

(平成15年5月、日本山岳会総務委員から発表されたものです)

保険の現況

加入者数

平成 15 年度 約 1,800 名 (含む団体会員及び家族会員) 事故件数

平成 14 年度 3 9 件 (平成 13 年 11 月~平成 14 年 10 月) 保**険金支払額** 約 3 3 5 万円 (平成 1 3 年度 約 7 2 0 万円)

主な事故例

1 パラグライダーで下山中、 着地操作ミスで転倒

02.4.14 65歳の男性 後十字靱帯損傷 支払保険金額 47,000円 (通院保険金)

2 沢登り中2mの岩場 から転落。消防局、県警、 山岳会メンバーの協力に て救助される。

02.9.1 男性 右脛骨高原骨折 支払保険金額 87,340 円 (遭難捜索費用)

3 赤石岳より下山中、赤石屋根上部付近で滑落。

県警航空隊のヘリコプ ターにて救助される。

02.11.5 22 歳の男性 顔面打撲により歩行不能 支払保険金額 34,020 円 (遭難捜索費用)

4 自宅内で庭木の剪定 作業後、剪定機械の手 入れ中負傷。

02.11.20 72 歳の男性 右手第 2 指開放骨折 支払保険金額 26,000 円 (通院保険金)

5 黒尾山下りで滑り落ちる。

02.11.24 61 歳女性 右足内側靱帯損傷 支払保険金額 52,000 円 (通院保険金)

6 自宅屋根の雪下ろし作 業中、地面に転落。

03.1.7 61歳の男性 肺挫傷・肋骨骨折 支払保険金 28,000円 (入、通院保険金)

7 外出先施設の階段を 昇りきった所でバラン スを崩し転倒。

03.1.16 66歳の男性 右鎖骨骨折 支払保険金額 7,000 円 (通院保険金)

8 スキー中に転倒

03.1.24 58歳の男性 右肩打撲 支払保険金額 43,000円 (通院保険金)

日本山岳会団体傷害保険を取り扱っている会社は、東京海上火災保険㈱で、契約期間は1年間。団体契約により保険料は25%割引。保険料は職種やコースによって3千円台から1万7千円台までいろいろ。補償内容は山岳登攀中の事故から、山行活動中や日常の事故やケガ、又第三者にケガさせたり、他人のものを壊したりした場合の補償(最高1億円)など。国内であれば、全てに遭難捜索費用が補償(最高2百万円)。なおこの保険は、日本山岳会では総務委員会が取り扱っている。

6月の山行報告

第57回ウェストン祭参加と残雪期の槍・穂高大展望 上高地~蝶ガ岳

13643

関 口 興 洋



期間 平成15年5月31日(土) ~6月3日(火) 3泊4日

行程

5月31日(土)

小倉・新幹線 7:57 発→新大阪乗換→名古 屋着 11:28 →名古屋駅前・貸切バス 12:00 発 →上高地着 17:00。宿泊:安曇村村営アル ペンホテル (ハイカーベッド使用)

6月1日(日)

信濃支部主催のウェストン祭に参加(10:00~11:30) 白樺荘で開催された午餐会に出席(12:00~13:30)。

山岳研究所→明神池→徳沢 →横尾着 17:30。宿泊:横 尾山荘

6月2日(月)

横尾山荘発 06:50 →標高 2,200m 地点でアイゼン装着→ 稜線分岐点着 11:50 →三角点 着 12:00。昼食休憩。蝶槍 13:15 →蝶ガ岳ヒュッテ着 14:35 (泊)

6月3日 (火)

ヒュッテ発 04:30 (外気 温 - 2.5 度 C、体感気温-5度 C) →日の出 04:35 →分岐点着 04:50 →アイゼン装着 04:55 → 雪渓下山開始 05:10 →横尾山 荘 07:45 着・08:00 発→上高地 着 11:20 →上高地 (貸切バス) 13:00 発→名古屋 17:30 着・新 幹線 18:30 発→小倉着 22:21 (解散)

参加者

11395 大庭常生

11990 原 広 美(SL)

13499 伊藤 久次郎

13520 西村信子(SL)

13530 浦田和夫

13532 馬場基介

13541 高 畠 拓 生

13643 関 口 興 洋(CL)

13722 藤 田 傳

北九345 高城 季美子 ビジケ 室 津 健 次

主体性人

"楠田和彦

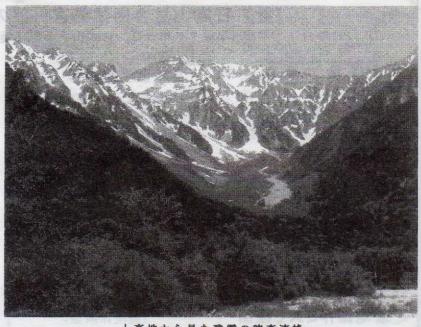
" 山田武史

加入江公子計 14人

(尚、大庭、伊藤、入江の3人 は、蝶ガ岳登山はしていません)

総括

- 1. 出発前、台風 5 号の影響が 心配されたが、特に交通機関 の障害もなく、上高地到着時 には天候が回復し安堵。
- 2. 上高地のウェストン祭には 支部行事として初めて参加し たが、今年は57回とのこと。 主催者の信濃支部の連綿たる 熱意溢れる取り組みと、日本 山岳会本部、安曇村の関係者、



上高地から見た残雪の穂高連峰

坂倉登喜子さん率いるエーデルワイスクラブのメンバーなど多数の方々の熱心な支援に 感銘を受けた。

- 3. 今回は、平山新会長、小倉 董子(新評議員)諸氏の謦咳 に身近に接することができ、 またとない機会であった。
- 4.午餐会では平山会長、坂倉 名誉会員、信濃支部の中野支 部長、中島総務担当の皆様方 とも交流ができ、有意義なイ ベントであった。
- 5. 日本アルプスの紹介者であるウェストンのパイオニアワークの偉大さを改めて認識する機会となった。
- 6.6月2日~3日の蝶ガ岳登山は、台風一過の絶好の天気に恵まれ、豊富な残雪に覆われた槍・穂高を中心とした北アルプス核心部の大パノラマを心ゆくまで眺めることができ、所期の目的は十分に達成された。
- 7. 当初、横尾山荘に登山路の 残雪の状況を問い合わせたと ころ、柔らかい雪だからスト ックがあればアイゼンは特に 必要ないでしょうとのことで あった。しかし、万全を期し 6本爪のアイゼンを携行する

ことにした。雪道の登降に慣れた人であれば、アイゼンを装着しなくてもこなせたと思うが、やはり、残雪期の登降は安心感からいっても、アイゼンを装着した方が断然歩きやすい。早朝、雪が締まった下り道ではむしろ快適であった。

- 8. パーティの足並みも揃い、 無事下山できたのは、参加者 全員の協力のおかげです。世 話人を代表して皆様に御礼申 し上げます。ありがとうござ いました。
- 9.6月3日、帰途、名古屋駅 で当地に転勤中の江頭前事務 局長の見送りを受け、短時間 でしたが、久し振りに旧交を 暖めることができ喜んでいま す。

蝶ガ岳との交信良好

アマ無線交信レポート

13499 伊藤久次郎

上高地での携帯は、明神まで が限界です。その先は圏外で使 用不能です。ただ、蝶ガ岳山頂 及び蝶ガ岳ヒュッテでは携帯が 使用可能のようです。というの は、徳沢からヒュッテに有線 電話したところ、小屋の電話番 号は携帯の番号でしたからで す。見通しの良い尾根筋や山頂 なら一応携帯は役立つが、それ 以外はあまり役立たないようで す。その時は、無線機が威力を 発揮するのです。

使用したのは、私が単独で横尾 から上高地に散策移動しなが ら。西村さんは、11人のパー ティと横尾から蝶ガ岳に登りな がらの私伊藤とのQSO(交信) でした。一応30分ごとのスケ ジュールを組み、パーティが山 頂に着くまでQSO出来まし た。この無線機が免許のいらな い誰でも使える低パワーのもの ならば山頂まで交信できなかっ たかもしれません。今後の山行 でも、緊急連絡用に出力の高い アマチュア無線機を2台以上、 持参することをお勧めします。 勿論ハム免許の資格者に限りま すが。 Q

To go、or not to go、that's question. おお、上高地、蝶ガ岳、私の反省点

北九 375 室 津 健 次

上高地といえば、井上靖の「氷 壁」を思い出す。6月1日のウ エストン祭、蝶ガ岳登山のメー ルを受けて迷うことなく参加を お願いした。博多発(ひかり3 58レールスター) の乗客とな り小倉駅で、これまでビジター で二度九重に同行させていただ いた日本山岳会北九州支部の皆 様に合流(またしてもビジター としてあつかましくも) なじみ の顔、顔、顔・・・で焼酎のお 湯割りなどいただきながら名古 屋に向かった。明日(1日)は ウェストン祭に参列、午後から 横尾山荘までの行程だけとあっ て気も緩み上高地までのバスで は一段と酒盛りが盛り上がる。 上高地アルペンホテルでの夕食 後も二階のロビーで酒と話に花 が咲き、上高地ウェストン卿の レリーフ前で開催された第57 回ウェストン祭には体調不良 (不謹慎なバチあたり) で参列 した次第。祭りではエーデルワ イス・クラブの合唱、小倉董子

さんの「失敗を恐れず、小さな 冒険、くよくよしないで人生明 るく、元気でピンピン、ポック リ・・・」の講話が印象的。信 濃支部主催の昼食会に参加後、 いよいよ梓川に沿って横尾山荘 を目ざすが、昨日からの暴飲の たたりか体調不良、脂汗が出て、 身体はけだるく歩行が苦痛にな る。そのうち明神池に着き、目 前にそそり立つ明神岳に畏怖 し、池のオシドリやニジマス (?)に心癒され新たな気分で 歩き出し、道の端のニリンソウ ほかいろんな花(名前を知らな いのデス)を眺め、いきなりサ ルの親子に出会い驚き、喜び、 カメラに収め、テクテク歩き、 概ね時間通りに横尾山荘に到着 した。風呂で疲れた膝や足首を 冷水で冷やすと疲れが取れると 教わり実践する。確かに効果は あったと思う。しかしこの時点 で明日の登山が気にかかる。登 りはヒュッテ泊まりだから如何 にかなるだろう、が、下山の時 間には制限がある(13時には バスに乗らないと新幹線の時間)、皆に迷惑をかけるような ことに成ってはならない。翌朝 の状態次第で今回はパスしよう と決めリーダーにも話す。

翌朝5時起床、身体に異常は 感じないこう」決んにうう」 た。リーダーを始めた。この で受け入れてもらえれる。 で受け入れてもらい出入る。 で受け入れてもらいに入る。 の別に入るすぐは とすぐは とすぐは とすぐは とすぐは とすぐは とかられて を出るの登りに入る。 を出るの登りに入る。 を出るの登りに入る。 を出るの登りに入る。 を出るの登りに とすぐは とすぐは とすぐは といたの を出るがら にしながら はいながら はいながら はいながら はいながら

そして槍見台に、この頃には 汗ばんでいる。槍を見ながら体 温調整、服を取る。やがて残雪 がそこかしこに現れ、進路にも 立ちはだかる。アイゼンを装着、 ザックザックと雪を踏みしめ る。踏みしめた雪の手応えが足 元から身体に伝わり快感。やが て稜線が目に入るようになった 所で残雪は終わり、ごろごろし た岩道を登るとそこはもう蝶ガ 岳の尾根(2625m)であった。そ こからは北に向かって雲一つな い晴天の下、残雪の槍穂連峰の 大パノラマを眺めながら緩やか なアップダウンを歩くこと数分 で蝶ガ岳に到着。あれが前穂・ あれが奥穂・・大キレットの 先に中岳・・そして槍と一つひ とつ山の先輩達に教えてもらい 時間をかけてゆっくり昼食。そ の後常念岳に向かって蝶ガ槍ま で足を延ばす。これから常念ま で行けないかなー。健脚組何人 かが羨望こめて言う。午後1時 を過ぎている。今日の泊まりは 蝶ガ岳ヒュッテ。あの下りと登 りがどの位か? もう少し早い 時間だとねー。To go 、or not to go、that's question. 体力 があれば私も悩めるハムレット になれたものと思いながら一足

玉

Шѝ

頹

る

先にヒュッテに向かいました。 ヒュッテで、我々が行ってきた のは旧蝶ガ岳(2664m)で現在の 山頂はヒュッテより少し南の小 高い場所(2677m)だと分かり改 めて集合写真撮影と相成りまし た。夕食はまさかの「うな丼」、 翌日の朝食は、早立ちのためお にぎりにしてもらい、山中で開 いたところ、冷気で硬くなって いて、米粒状態、ヒュッテを出 る時、零下2.5度だったとこ とを思えば当然のこと。下山後 の小休止時に、みなの残りを集 めて作った雑炊はとても美味し くいただけました。早立ちのお かげで上高地のホテルで一番風 呂に入れ、ビールを飲んで、全 員無事帰宅でき本当に素敵な山 行きでした。日本山岳会北九州 支部の皆さん、本当に有難うご ざいました。

深酒厳禁、花の名前を覚えよ う。おお 上高地、蝶ガ岳、私 の反省点。

を人は、 え。 三ず لح て に 容 八 断 す で寸替ち、 竹類れ 容 る玉 酔 貌 し 並風 類於 山山 林が魏ぎ落 見 いの て、 (康 のの る 貌一の竹 ののち つ美 は美意は 容八身林名七文る ぶし れい は し味名 崩 る人 11 玉 きン七ん念一康う た転を が

き は 言 く そ が が で が で で、 ぎ松 び これの木の大の大の大の木の 下ある」 き 空高火 n と高

ょ

修

館

店

Ш

n

用い美

がになっている。「美ののなって、

も用いまた

さし ま 酒山

まい

の 格 故 事 **(5**)

人が、と言とするとする

と酔る

個に 類に たこと ように が 崩 が 崩

すぐに理 る 人は た容 ŋ \mathcal{O} 器 一姿に感 で 解 あ \mathcal{O} 嘆 静

あを非ぐの 凡れ龍 鳳 ょ できた。 いること ふうに Ĺ

「くはになれりがてぽつ緒林 - 容ず、よるよと酒いつごにのヨ 貌れ美。」 り頃にるんしな にの玉評 このした一本にした山濤が、いるようだ。いるようだ。いるようだ。いるようだ。いるとうだ。 遊山し した山港 たるようだ 、。え本が、康は、

利尻山(1,719m)と礼文岳(490m)登山記録

下関市 北九 322 塩 屋

参加者 塩屋 中村 上野 八 木 森本 八木 大井 原 橘 7月7日

08:00 福岡空港発、千歳空港乗換 後 14:25 利尻空港着。レンタカーに て島内一周観光。姫沼〜おたどまり 沼~仙法志御崎公園アザラシ1匹 遊泳していた。~沓形~鴛泊民宿 みさき着。レンタカー 15,000 円。

島内一周中どこからでも利尻山が 形を変えて良く見えた。

7月8日

鴛泊コース往復。05:15 登山口出 発、三合目(日本名水 100 選甘露 水) にて水補給し、東屋で朝食。6:10 四合目、6:45 五合目、7:50 七合目 見晴台、8:20 八合目長官山 (1,213m)、9:30 避難小屋、10:20 九 合目、10:55 沓形合流点(1,550m)、

11:35 利尻山山頂着。昼食。12:40 下山開始。16:50 登山口に下山。登 り 6:20、下り 4:10。天候最高で眺 望も 360 度、稚内まで見えた。高 山植物も九合目から見られた。温 泉の露天風呂から見る利尻山も又 格別でした。礼文へ移動前にペシ 岬灯台(93m)に登る。又磯で蜷を 取る。朝市でムラサキ雲丹を 450 円で食べる。民宿みさきの部屋か らも利尻山が見上げる程に見えた。

7月9日

10:05 利尻鴛泊港発 (フェリー)、 10:45 礼文香深港着、11:00 レンタ カーにて内路に移動、11:15 内路登 山口着。11:25 登山開始、12:15 起 登臼分岐点着(50分)礼文岳まで70 分の案内板有り。13:13 礼文岳着(58 分)、昼食タイム、眺望 360 度で水 平線が丸く見える。又利尻山も良 く見えて最高でしたし、スコトン 岬も望めた。14:05 下山開始、14:50 起登臼分岐(45分)。15:30内路登山 口に下山(40分)。登り1:48、下り 1:25 歩数 15,184。

7月10日

礼文林道へ花観察。8:30 香深フェー リーターミナル発 (バス)、8:40 礼文林 道入り口から登り花観察。礼文ウス ユキ草が盛りであったが、他は20日 も雨が降らなかったので終わってい た。6月の季節が盛りと思われる。 帰路は林道を出て元地線を香深ま で歩いた。11:30 山光着。4人の方 はうに丼、いくら丼を食べに行く。 2人は焼酎を飲んで我慢した。7 月 11 日 8:45 香深港発。稚内港、 稚内空港、羽田空港、宇部空港、20:35 下関駅着。皆さん大変お疲れ様で した。天候も良く皆様の意気も合 い大変良い山行ができ安心しまし た。以上

随 想

「山、民謡行で酒」

13465 大楠益弘



まだカラオケの無かった頃、歌といえば肉声が主で、マイクはあってもバックミュージックなどというものはまだ存在しなかった。レパートリーは昨今の様に、走馬燈如くに変わるものでなし、マイペースで歌っていれば良かった。その中で、民謡はレパートリーの重要な地位を占めている時代でもあった。

民謡と山、そして酒とは切って も切れない繋がりがあった。苦し くも楽しかったアルバイトを想い 起し酒に浸り聴き又歌ったもの で、さだめし、秩父の山は秩父音 頭、日光連山は和楽踊り、甲斐駒、 仙丈、八ガ岳は伊那節、槍、穂高、 白馬は安曇節、そして越後の山々 は十日町小唄というところであろ うか。九重では豊後追分があるけ れども、果たしてどれだけ唄われ たものか。今ではそれがあること すら知らない人も多いかも知れな い。その中でも安曇節は、声調と いい歌詞といい、安曇野とそれを 彩るアルプスの山々を、讃えてや まない、ロマン多き山里の歌であ る。歌詞は沢山あり、地元の人が 歌い出すとえんえんと続き、切れ 間がない。聞いて何となく夢があ って、山男の気持ちを掻き立てる のは、「岩魚釣る子に 山路を問えば 雲の彼方を雲の彼方を 竿で指す」という件だ。「一夜穂高の わさびとなりて 京の小町を京の小町を 泣かせたや」は、一寸色っぽい。

昔、この歌がとても好きだけれども、なかなか覚えの悪い1人の 先輩が居た。ある夜、赤提灯で人 に歌って聞かせていたのだが、途 中で詰まってしまい、困り果て来た。 そろそろ、呂律の方が怪しくなっていたが、そうそう邪険にする訳にもゆかず、あくびを抑えながらしずしが、お前の教え方が悪いからとうとう歌い損なったと、お中とうものは、いつまでも辛い役回りである。

井上靖「氷壁」の映画で、小坂 が遺体となって見つかり、荼毘に 付した夜、菅原謙二扮する魚津が、 徳沢小屋から出て来、星を仰いで、 今は亡き友、小坂を偲ぶシーンが ある。間をおいて、野添ひとみ扮 する小坂かおるが小屋から出て来 る。二人で会話を交わす。二人の 背後の徳沢小屋では、捜索隊員ら が、一日の疲れをいやす酒宴を、 しめやかに張っている。その辺り のほんのりとした灯火の下から、 途切れとぎれに聞こえて来る安曇 節。山に逝った友を、偲ぶ愛惜の 情と、それでもなお山に賭ける山 の男のロマンとが胸の奥深くジン と伝わって来たのを覚えている。

同じく我がありし日の上高地。 はや陽は落ち始めていた。11月 の初めとは言え、新雪が何度か訪 れたのであろう。見上げる空間に は薄闇を通して白い山並みが屹立 していた。その白い峰もやがて灰 色にかすみ、梓川のほとりは、乳 白色一色に包まれ、鋭い寒気が我 々のパーティを襲って来た。旅 を寄せつけぬ厳しい表情を露わに した上高地を後に、追われる様に われわれは白骨温泉へと下った。

冷え切った指で山靴の紐をほど く。凍えた身体を白濁の湯でゆっ くりとほぐし、炬燵に入る。丹前 を羽織り、昼間の山旅を語りなが らチビリチビリと盃を傾けてい た。ふと気がつくと、話の合間に ゆったりとした歌が我々の部屋に 流れてきていた。声の主は奥の間 の旅人らしい。襖越しのくぐもっ た歌は、正調伊那節だった。厳し い山の試練の末、辿りついた山宿 だったのだろうか。その疲れをい やし、酒に親しみ、歌の節回しを 楽しんでいる山の仲間達の風情が しのばれた。山人の心意気がしみ じみと伝わってくる静寂の夕べで あった。一われわれを包みこんだ 夜の山宿には、すでに冬が忍び寄 って来ていた。

当支部に対する会員からの要望もありましたので、このたび、登山教室を開催することにいたしました。会員初心者、新入会員の方々に、日本山岳会にもなじんで頂き、積極的に山行に参加して頂くために登山の ABC を一緒に研究していきたいと思います。お世話は関門グループでさせて頂きます。日程は、次のようになっています。準備の都合がありますので、開催日の10日前までに事務局に、FAX 又はハガキで申し込んで下さい。申込先:大庭常生までハガキ又はFaxで。〒808-0063 若松区和田町11-13。Fax093-551-2375

開催のお知らせ登山教室

13465 大楠益弘 日 程

時場 対テーマ

10月8日(水) 12月10日(水) 2月4日(水) 4月7日(水) 18:30~20:00頃まで

小倉北区 キャンプ 2 会議室 新入会員、会員初心者

1回目 登山の基本的心構え 装備

2回目 冬山の登り方、心構え

3回目 登山用具の使い方 4回目 地図の読み方、コンパス

の使い方他北九州支部スタッフ

講 担 当 費 用

関門グループ 200円(印刷費、通信費等)

9月の山行

岩登り基礎訓練

(岩場を安全に通過するための初級訓練)

日時 9月28日 日 午前8時30分

平尾台ビジターセンター駐車場集合

場所 平尾台 唐手岩ゲレンデ

装備 ヘルメット、ハーネス、カラビナ (安全カン付)、 ザイル等持っている方は持参下さい。

締切 10人前後で締め切ります。

申込 板倉健一までハガキ

(〒 801-0851 門司区東本町 1-7-28-201) 又は(自宅版 093-321-1038 会社版 093-331-1031 Fax093-331-1032)

参加費 1人1,000円(保険料込み)

10月の山行

①大船山日帰り登山 (コース等一部変更済)

期 日 10月19日(日)雨天決行

集 合 午前7時 50 分、瀬の本三愛レストハウス駐車場 コース 今水登山口®→ガラン台風穴分岐→前ゼリ→ 大船山→段原→風穴・岳麓寺分岐→前ゼリ→今水

登山口(行程約7時間20分予定、現地解散) 申 込 高畠拓生(〒821-0012 山田市上山田335-36)

締 切 10月4日(土) ハガキで(Fax なし) 参加費 1,000円(保険料別)

※ヘッドランプ持参のこと。急登、急坂有り。

② 皿倉山 (薬草観察~講師秦野支部長ほか)

目 時 10月26日(日)午前8時30分集合

集 合 帆柱ケーブル山麓駅前

申 込 事務局 大庭常生までハガキ (〒 808-0063 北九州市若松区和田町 11-13) 又は Fax (093-551-2375)で

締 切 10月10日まで

11月の山行

宮崎ウェストン祭と祖母山登山

主催 宮崎支部

期 日 11月2日(日)、3日(月)

スがエル 2日(日 前夜祭17時~21時、三秀台・五カ所高原 3日(月) ウェスト/祭9時~9時30分に参加

> 祖母山登山 10 時頃~。北谷登山口→三 県境→国観峠→祖母山→風穴→北谷 登山口(悪天の場合は往路を下山)

※昨年三県境より積雪有り、軽アイゼン準備のこと。

交 通 22人乗りマイクロバス

募集人員 20人程度

費 用 7,500円前後(マイクロバス費用を含む)

宿 泊 高千穂町公民館(シュラフ必要)

集 合 2日8:30 小倉駅北口КММビル前

申込み 支部事務局まで FAX 又はハガキにて

〒 808-0063 北九州市若松区和田町 11-13

大庭常生 FAX 093-551-2375

締 切 先着20人で締切ります

担 当 日向祥剛、高畠拓生

12月の山行

① 日本百名山「瑞牆山」と「金峰山」 (2230m) (2599m)

(2ページの日本山岳会年次晩餐会と「瑞牆山」・「金峰山」登山に同じ)

② 第1次伯耆大山冬山合宿

期 日 平成 15年 12月 19日(金)~23日(火)

交 通 西鉄夜行バス利用(往復)

費 用 20,000 円程度(山岳保険料を含む)

装 備 冬山完全装備

山行内容 冬山基礎技術訓練、雪山でのテント生活の仕方等

参加人数 8名

申込締切 平成 15 年 10 月 20 日(月)

申込先 〒 801-0851 門司区東本町 1-7-28-201 板倉健一版(会社)093-331-1031

(自宅) 093-321-1038

申込方法 ハガキ又は FAX093-331-1032 尚、第2次伯耆大山冬山合宿は、平成 16 年2月に予定

1月の山行

しています。

霧氷の韓国岳 (1,700m) と 薩摩富士の開聞岳 (922m) へ

期 日 平成16年1月24日(土)~25日(日)1泊2日

集 合 小倉駅北口広場午前7時

交 通 マイクロバス予定 22名限定

行 程 1月24日小倉→えびの高原→韓国岳→えびの 高原→国民宿舎かいもん荘(泊)

1月25日 かいもん荘→開聞岳→かいもん荘 (入浴、昼食)→池田湖→小倉

携行品 24日の昼食、雨具、防寒具、手袋、テルモス、 行動食、ヘッドランプ、アイゼン、地図、

コンパス、その他

費 用 13,000 円前後+18 日昼食代

リーダー 大楠益弘、西村信子

申込先 西村信子 〒824-0121 京都鳴津町豊津1100-3

ハガキ又は Fax で

Tel (Fax) 0930-33-4618

締 切 平成 15 年 12 月末 (22 名で締め切ります)

編集後記

○クーラーもつけず残暑、酷暑の中、 私は頭のてっぺんから噴水の如く汗 をかくので、バンダナをねじり鉢巻 きの如く締めてパソコンとにらめっ こ。ようやく編集校正がが終わりま した。この最後の編集後記の欄は、 前の文章の調整で長くなったり短く なったりで、本当の最後にならないと余白がどれだけ出るか分からないのです。わずかな余白をどう埋めるか、この穴埋めが最後の悩みです。ですから思いつきのとりとめのない文章になってしまうのです。そのへんをご理解の上、何卒ご容赦の程お願いします。ということでどうにか穴が埋まったようですので、今から印刷に回します。

○山の原稿(山行記、感想、山の随想・・・等何でも)は田川市西平松 11-8 〒 826-0032 伊藤久次郎までお送り下さい。方法は郵送、FAX、メール、どれでも結構です。出来ましたら写真も一緒にお送り下さい。 Eメールは、qito@mx71.tiki.ne.jp電話・Fax は、0947-42-2772 (伊藤Q)